

くらき永田保育園便り



先週までの寒さが嘘のように暖かい日差しが園庭に春の訪れを感じさせてくれています。さて、大盛況だった小さな表現者展では子どもたちの表現活動や作品を見ながら保護者の皆さんといろいろなお話ができたことで保育士にとっても多くの学びを得る機会となりました。また、アンケートに書かれた言葉から伝わってくる暖かいメッセージから職員一同、勇気とエネルギーを与えていただけたこと感謝しております。早いもので令和7年度も最後の月となり、卒園式の歌が保育園に響き渡る季節になってきました。年度末の慌ただしい季節ですが、ひとりひとりの「育ち」を確認しながら一年を締めくくりたいと思います。

4月から安定した保育生活を送るために！

4月の保育園の生活というのは、「担任が替わり」「あたらしい友達が増え」更に「保育室が変わる」という3重の環境の変化が起こる季節です。子どもたちにとって見通しのある安心した生活が送れるように例年通り、3月中に現担任と一緒に次年度の保育室への移行を行います。ご不明な点は気軽にご相談ください。

移行日時 : 3月6日(金)

荷物等 : 登園用の下駄箱位置は変わりません

いきいき : 小学校での生活を見据え、単独で生活します。

事務所前の甘酒屋さん

3月3日はひなまつり、園長が甘酒をふるまいます。湯気の立つ鍋から甘酒をひとりひとりに手渡すと、それはただの飲み物ではなくなります。最初は「甘い」だけかもしれませんが、少し口の中にとどめてみると、ふわっと広がるやわらかな甘みがある。さらに、喉を通るときの温かさ、そして、お腹の奥がじんわりあたたまる感じ。それはきっと、急いでは感じられない体験です。甘酒を飲むという行為の中に、ただの栄養補給ではない、また、ただの行事でもない「暮らしの記憶」が生まれたら嬉しいと思うのです。

次年度に向けてのお知らせ

- ① 3月31日(火)は、次年度準備のため、保育時間が18:30までとなります。年度末のお忙しい時期ですが、4月以降、子どもたちの保育園生活がスムーズに行えるように準備を行います。なお、担任の発表は4月1日に玄関ホールに掲示します。
- ② 現在2026年度の保育をより豊かにするための準備をしています。そして、4月11日(土)午前中に全体懇談会で保育方針や行事日程などについてお話ししたいと思います。新しいクラスの担任の保育に掛ける熱い想いをお伝えしたいと思います。

各クラスの様子をお伝えします！



にこにこ

にこにこ組は「にこにこタイム」をテーマに掲げ、一日一日を大切に過ごしてきました。

振り返れば入園当初、初めての環境に戸惑い、大好きなお家の方と離れる寂しさから涙がこぼれる日もありましたね。しかし、お気に入りの玩具を見つけ、保育者やお友だちとの絆が深まるにつれ、いつの間にか朝から眩しいほどの笑顔で「おはよう！」と入室してくれるようになりました。最近では、室内外を「きゃー！」と元気に走り回ったり、「しゅんしゅん（先生）」「〇〇くん」「どーぞ」「まんま」と、言葉や指さしで一生懸命に気持ちを伝えてくれる姿に、大きな成長を感じています。子供たちの純粋な笑顔に、私たち保育士もたくさんのパワーをもらい、まさにクラス全体が「にこにこ」に包まれた幸せな1年でした。保護者の皆様と一緒に、お子様の歩みを見守り、喜びを共有できたことに心から感謝申し上げます。1年間、本当にありがとうございました



よちよち

今年度のテーマ『やりたいを認める もっとやりたいはもっともっと認める』というテーマで一年間過ごしてきました。

最近では、身の回りの着脱も「自分で！」と意欲的に挑戦する姿が日常となっています。時には「難しい……」と立ち止まることもありますが、保育士や友だちと力を合わせることで、「できた！」という達成感を味わってきました。言葉の数も増え、自分の想いを伝えられるようになったことは、子どもたちの大きな自信へと繋がっています。仲間と一緒に過ごす楽しさを知り、自ら一歩を踏み出すその姿は、1年前とは見違えるほど頼もしく感じられます。

これからも、子どもたちの中に「もっとやりたい！」というワクワクした気持ちが溢れ続けるよう、温かく見守っていきたいと思います。1年間、保育へのご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。





すくすく



今年度すくすく組は『一人でも楽しい！みんなだともっと楽しい！』を年間テーマに過ごしてきました。進級当初は新しくなった室内で、棚の隙間に大きなロンディを入れる遊びが流行したので段ボールで玩具を落とせる場所を作り遊んでいましたが、今では小さなロンディを重ね合わせて「ジョブレイバー作った」と思い描いたものを作って遊ぶ姿がたくさん見られるようになりました。テラスでは、タイヤ遊びが流行し、転がすだけでなく、並べたり、重ねて中に入ったり「一緒にあそぼう」と声を掛け合い数人で集まり遊んできました。また、久保先生のわらべうたでは、みんなで手を繋ぎ輪になって遊ぶなど『みんなだともっと楽しい！』場面もたくさん見られた一年でした。

生活面では、進級当初はシャツや靴を履く時に「できない！」と大きな声で保育士に助けを求める姿も見られていましたが、やり方を伝えて、出来た時には喜びに共感していく中で、少しずつ自分でやろうとする姿が増えていきました。今では「できたよ！」と誇らしげに教えてくれるようになりました。

遊びや生活を通して、こどもたちの成長を感じる事が出来てとても嬉しいです。残り一か月、4月を楽しみに迎えられるように異年齢保育室での過ごし方を丁寧に伝えていきたいと思います。



異年齢

異年齢クラスは『やってもらうからしてあげる』というテーマで一年間生活してきました。不安なことや難しいことを職員や年上の子どもたちから手伝ってもらうことで、少しずつ自信を持って生活してほしいと思ってきました。最近はコマ遊びが異年齢クラスで流行っていますが、最初は保育士に紐を巻いてと言っていた子どもたちが今では自分だけで紐を巻いて見事にコマを回すことができています。また、それだけではなく、紐を巻くのが難しそうなお友達がいたら「おれがやってあげようか！」と笑顔で助けてあげていました。他にも自分たちがクッキングで作ったものを他のクラスの人にも食べてもらいたいと渡しに行くなど、様々な『してあげる』という受け身ではなく能動的な姿が出てくるようになりました。そんな子どもたちですが、いきいき組は小学校、わくわく組・のびのび組の子どもたちはそれぞれ進級して新たにすくすく組の子どもたちを受け入れていきます。今年1年で誰かに『やってあげたい』と思った気持ちをそれぞれ新しい友達や年下の友達に向けて発揮してくれると嬉しいです。

一年間ありがとうございました。



給食室

今年度、「農家ファースト」というテーマを掲げ取り組んできた給食室ですが、今回の表現者展では、お付き合いのある農家さんたちにご協力いただき、規格外野菜を使用したお味噌汁の提供をしました。たくさんの方にお立ち寄り頂き、「おいしい」という嬉しい声を頂くことができました。お立ち寄りくださった皆さんありがとうございました。

スーパーで売っているのとはちょっと違う大きさや形のお野菜。実際に見たり、触ったり、においをかいでみて、それをまた実際に食べてみる・・・というのは、こどもたちにとっても、とても良い経験になったかなと思います。

「普段食べているお野菜と比べて、味はどう？」と聞くと、みんな「かわらな〜い」「おいしい！」「あまいよ！」などたくさんのお返事を返してくれました。

まだまだ、「農家ファースト」の取り組みは始まったばかりですが、今回の表現者展では、私たちにとってもたくさんの学びがありました。これをいかして、今後はこのような野菜を積極的に給食に取り入れていく流れを作っていきたいと思っています。

この経験をもとに、来年度は、さらに「農家ファーストの給食作り」を目指していく予定です。今年度もたくさんのご協力ありがとうございました。

3月の献立は、いきいきさんのリクエストメニューとなっています。

こどもたちの思い出の中に、一つでも給食のことが残っていると嬉しいです。

食育係より

今年度の食育係は「暮らしの中に自然にある『食』からたくさんの幸せを生み出そう」「食で地域と繋がり、こどもと共に『食べる』をつくっていく」というテーマで活動してきました。

特に力を入れてきたのがそれぞれのクラスが出来る食べ物との関わりを大切にすることです。

異年齢クラスではコロナ過から出来なくなっていたクッキングや年長クラスの給食室の皮むきなどのお手伝い、乳児クラスでは給食室の先生が給食で使う食材を目の前で切ってもらうなどリアルな体験ができるように考えてきました。そういった活動から子どもたちが少しでも食材や食べるということに対して興味関心を持ってもらえてきたと実感しています。また、いきいき組は三浦の小川農園さんでジャガイモ掘りをさせていただいたり、収穫祭などでは地域のお家に焼き芋やお餅などを配りにいってくれました。そういった小さな関わりから出来た繋がりを大切にして、これからも地域との輪を広げていきたいと思っています。

来年度はさらに楽しい活動をしていけたらと思っているので、お楽しみに♪

遊言育係より

今年度、「くらしの中のおもちゃ・絵本・わらべうた」を入り口に、子どもたちが安心して「遊びこめる」環境づくりを大切にしてきました。

入園当初は、お気に入りのおもちゃをぎゅっと握りしめ、保育士の側で安心を求めている0歳児さん。月日が流れた今では、おもちゃを介してお友だちと関わろうとする微笑ましい姿が増えています。また、年齢が上がるにつれ、絵本の中の言葉を借りてお友だちと笑い合ったり、そこから着想を得て作品作りに繋げたりと、遊びの幅がぐんと広がりました。

異年齢クラスでは、時間を忘れて積み木やカプラ、LaQでの創作に没頭する姿や、その傍らでカードゲームに興じる姿など、日常のあちこちに「自分たちの居場所」を見つけた子どもたちの姿がありました。誰に急かされることもなく、自分のペースで世界を広げていく。その没頭する瞳の輝きこそが、何よりの成長の証だと感じています。次年度も、久保先生による「わらべうた(月1回)」、クーベルチップさんによる「絵本の読み聞かせとマルシェ(年4回)」を継続して予定しています。

***3月10日(火):クーベルチップさんの絵本の読み聞かせ&マルシェ ぜひ、親子でお立ち寄りください。**

木育係より

今年度は『暮らしに自然を取り入れる』をテーマに癒しとくつろぎ環境を作ることを大切にしてきました。

近年恒例となっている蚕育てでは、乳児クラスでも『お部屋に蚕がいる暮らし』を体験して、自然や命に触れることが出来ました。食糧難の時には、蚕のために沢山の桑の葉を持って来て、毎日「ごはんだよ～」と食べさせてあげる姿もありました。

皆さんのご協力もあって、たくさんの蚕が出来、子どもの遊びや製作に活用することが出来ました。

また、草木のお世話をしてくれているグリーンアンバサダーさんとの関りを深めようと思い、今年から、月に2回、午前中の時間に来ていただくようになりました。こどもたちの興味関心に合わせた活動をしていただき、沢山ふれあうことができたことは、こどもたちの良い経験となったと思います。

『種団子』作りや『苔玉』体験は、こどもたちにも人気で、今でもお部屋のあちらこちらに飾り、癒しの空間になっています。今後もこれまで以上に、自然の中でこどもたちが探求を深めて楽しめるようにしていきます。



今月の行事

- 3日 ひなまつり
- 11日 年長児 お別れ遠足
- 12日 卒園式予行練習①
- 16日 卒園式予行練習②
- 18日 お別れ会
- 19日 卒園式
新しい布団に交換
- 20日 **春分の日**
- 31日 次年度準備のため18時30分で保育終了となります。



来月の行事



- 1日 入園を祝う会
- 2日 お慣らし保育開始
- 11日 全体懇談会 (9:00~11:30予定)
- 29日 **昭和の日**

